

令和 2 年 度
第 3 回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会

期 日 令和 3 年 2 月 1 2 日 (金)
時 間 午後 1 時 30 分 ~ 3 時 30 分
場 所 鶴岡市総合保健福祉センター
 にこふる 3 階 大会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 説明・報告・協議

(1) 市民アクションプランの体系(案)、アンケート調査項目(案)の説明

事務局 地域包括ケア推進室

(2) 協 議

① 地域医療について市民周知や広報の手法を考える

② 地域医療に関するアンケートやデータ収集を実施するには

③ 地域医療市民勉強会のあり方を考える

(3) そ の 他 次回、市民委員会のテーマについて

4 そ の 他

5 閉 会

令和2年度 第3回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会 名簿

(敬称略)

NO	組織等	役職	氏名	備考
1	からだ館 にこにこ倶楽部		キタカゼ スミ 北風 寸美	
2	元鶴岡市私立幼稚園・認定こども園連合会保護者会		キムラ ヒロユキ 木村 博之	
3	元鶴岡市立荘内病院 ボランティア		サウ アケミ 佐藤 明美	
4	鶴岡市公立保育園保護者会連絡協議会	会長	サウ 和広 佐藤 和広	欠席
5	株式会社 瀬尾医療連携事務所	代表取締役	セオ リカ 瀬尾 利加子	委員長
6	朝日地域保健委員会	副会長	ツチダ ミカ 土田 三香子	
7	関根いきいき体操講座	代表	ハラダ トウシロウ 原田 藤四郎	
8	もみじが丘	施設長	ホンマ シホ 本間 志保子	副委員長
9	山形県看護協会		ホンマ ヨコ 本間 優子	
10	つるおかオレンジサポートの会	代表	マシマ マサヒロ 真島 正博	
11	鶴岡市介護保険事業者連絡協議会 居宅支援事業者部会	幹事	ミヅグチ ヒロシ 水口 英俊	

コーディネーター

慶応義塾大学 環境情報学部	教授	アキヤマ 美紀 秋山 美紀	オンライン参加
---------------	----	---------------	---------

オブザーバー

鶴岡地区医師会	会長	フクハラ アキコ 福原 晶子	
鶴岡地区歯科医師会	副会長	ウケダ 健 迎田 健	代理出席
鶴岡地区薬剤師会	会長	スズキ テハル 鈴木 千晴	
鶴岡市立荘内病院	病院事業管理者	シノ 三科 武	
鶴岡市立荘内病院	院長	スズキ 聡 鈴木 聡	

第3回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会 座席表

日時: 令和3年2月12日(金)
13:30~15:30
場所: 鶴岡市総合保健福祉センター
にごふる 3階大会議室

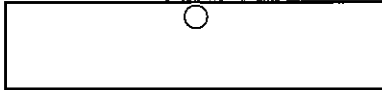
スクリーン

オンライン出席
秋山美紀 コーディネーター

瀬尾委員長

音響機器

入口



zoom
ビデオカメラ

北風 寸美
委員

木村 博之
委員

佐藤 明美
委員

佐藤 和広
委員

土田 三香子
委員

福原 晶子
鶴岡地区医師会長

迎田 健
鶴岡地区歯科医師会副会長

鈴木 千晴
鶴岡地区薬剤師会会長

原田 藤四郎
委員

本間 志保子
委員

本間 優子
委員

真島 正博
委員

水口 英俊
委員

三科 武
荘内病院事業管理者

鈴木 聡
荘内病院院長

○
○
○
○
○
○ オブザーバー
○
○

○
○
○
○
○
○ オブザーバー
○

○ ○
帯谷 友洋 佐藤 正
調推括地 調推括地
整進ケ域 整進ケ域
専室ア包 専室ア包
門員 門員

○ ○
佐藤 清一 渡邊 健
ケ地 祉健
宝ア城 部康
長推包 長福
進括 進括

○ ○
佐藤 光治 今野 一夫
院荘 事荘
部長 務務
内病 務務
務病 務務

○ ○
土田 信一 富樫 清
医(兼) 荘内
療(兼) 院
主 課長 医
持 携 室
室 携 携
室 携 携

○ ○
東海林志保 三浦 巧
保推括地 推括地
健進ケ域 進ケ域
師室ア包 主事

報道関係者席

傍聴席

入口

目指す姿	基本的な視点	市民アクション	目標	計画	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価項目(アンケート等)	改善点	実施主体	
こころ通いあう地域医療の実現 地域の基幹病院である荘内病院が使命を果たす	地域医療の市民への理解と普及	市民による地域医療に関する積極的な情報発信	・広報誌を柔らかい内容にし、親しみやすくする ・若い世代にも地域医療への理解を広める	・地域医療に関するアンケートやデータ収集を行い、市民の理解度について確認する ・既存の地域医療関連の広報誌にキャラクターやマスコットを入れ、一目でわかるようにする ・SNS等で情報発信する ・地域の保健衛生推進員や民生委員より地域医療について周知してもらう	アンケート、データ収集の実施 関係機関への働きかけキャラクターの作成(公募等) ホームページの開設 地域の関係者への説明会を実施			定期的な同じアンケートを行うことにより、市民の理解度を確認する キャラクター、マスコットの認知度を評価 ホームページ等のアクセス数を評価 医師や看護師不足や医療資源の偏在等の地域医療についての理解度を評価			
		地域医療に関する「市民勉強会」や「市民公開ワークショップ」の開催	・市民自身が自分の健康を守ることができるよう地域医療に関する知識を身につける ・地域において、地域医療について普及できる人材を育成する	・各町内会、自治会において、年1回「地域医療市民勉強会」を開催する ・年1回鶴岡市全体で、各町内会、自治会での地域医療の取組について発表する「市民公開ワークショップ」を開催する	各町内会、自治会へ周知開催計画を策定講師候補の市民委員への勉強会の開催 鶴岡市全体で年1回開催 鶴岡市全体で年1回開催	旧鶴岡市のエリアで開催 旧町村エリアで開催	町内会、自治会での開催回数 開催エリアの範囲 市民公開ワークショップの参加者数				
	住み慣れた地域で生活し続ける	訪問診療、訪問看護、介護サービス等、在宅療養支援体制の把握	・自分のお住いの地域の医療・福祉サービスを知り、安心して暮らすことができる	・地域で開催される市民勉強会のなかで、医療・福祉資源マップを作成する		旧鶴岡市のエリアで開催 旧町村エリアで開催			自分の日常生活圏域の病院、診療所、訪問看護事業所、介護サービス事業所の名称と機能を説明できる		
		ACP(人生会議)の市民の理解と普及	・人生の最終段階の医療やケアについて、自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有する	・地域で開催される市民勉強会のなかで、エンディングノートを作成する		旧鶴岡市のエリアで開催 旧町村エリアで開催			市民のエンディングノート所持率		
	地域医療における荘内病院のあり方	患者満足度の向上や開かれた荘内病院の実現	・荘内病院の強みを生かし、安心して受診できるような環境を整えることで、患者満足度の向上を図る	・「荘内病院の明日を考える会」と協働し、①荘内病院をより知ってもらう広報、②外来待ち時間を楽しく過ごす、についてアクションを起こし、実現する		「荘内病院の明日を考える会」への参画、協働			・鶴岡市総合計画のKPI「荘内病院における患者サービスの満足度指数」の達成 現状値 84%(H29)⇒94%(R10) R1・・・85.9%、R2・・・90.6% ・荘内病院医師数の増加		
		市民団体による荘内病院応援団の結成	・荘内病院の現状をよく理解してもらうとともに、荘内病院で開催される各種事業に参画する	・荘内病院市民応援団を結成する(市民に親しまれる開かれた病院を実現するため、市民の声を活かしながら病院事業を推進していく)	応援団の募集、結成	荘内病院の事業に参画 荘内病院の事業に参画			・荘内病院ボランティアの増加 ・荘内病院市民応援団の増加		
	スムーズな在宅療養生活への移行	入院時、退院時の「入院退院支援ルール」の理解と普及	・実際に入退院に関する基本的なルールを理解し、在宅療養が必要時に備える ・かかりつけ医制度の理解と普及を図る	・地域で開催される市民勉強会のなかで、かかりつけ医制度や入院退院ルールについて理解する		旧鶴岡市のエリアで開催 旧町村エリアで開催			・庄内二次医療圏の基本的な入院退院のルールについて理解できたか評価する ・急性期、回復期、慢性期等の基本的な病院の役割を理解できたか評価する ・かかりつけ医がいる市民の割合を増やす		
		市民のICTツール(Net4U、地域連携バス、ちようかいネット等)の理解	・ちようかいネット・Net4U・地域連携バス等の内容(メリット等)を理解し、活用について検討する	・地域で開催される市民勉強会のなかで、ICTツールについて勉強する		旧鶴岡市のエリアで開催 旧町村エリアで開催			・ちようかいネット・Net4U・地域連携バスの利用者が増加 ・コロナ禍におけるオンライン診療の普及		

鶴岡市の地域医療に関するアンケート

《 アンケートへのご協力をお願い 》

平素より本市保健・福祉行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
本アンケート調査は、市民の皆さまに鶴岡市の地域医療について、普段感じられていることやご意見を伺い、今後の「鶴岡市地域医療市民アクションプラン」作成の基礎データとするとともに、地域医療の理解と普及を目的に実施するものです。
ご多忙のこととは存じますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますよう、何卒よろしくお願いいたします。

《 ご回答にあたってのお願い 》

- ①ご回答が難しい設問については、空欄のまま進めてください。
- ②本アンケートは無記名方式です。アンケート用紙等にお名前やご住所をご記入いただく必要はございません。
- ③ご回答いただきました内容は、今後策定を予定しております「鶴岡市地域医療市民アクションプラン(仮称)」の基礎データとして活用させていただきます。

回答期限：令和3年 月 日（ ）

アンケート調査についてのお問合せ先

鶴岡市役所 健康福祉部 地域包括ケア推進室
〒997-8601
鶴岡市馬場町9-25
電話：0235-25-2111
Fax：0235-29-5658
メール：houkatsukea@city.tsuruoka.yamagata.jp

回答者ご自身のことについて

問1 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 |
| 4. 35～39歳 | 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 |
| 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 | 9. 60～64歳 |
| 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75～79歳 |
| 13. 80歳～89歳 | 14. 90～99歳 | 15. 100歳以上 |

問2 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。(1つに○)

- | | | | |
|----------------|------------------|---------|---------|
| 1. 旧鶴岡市1学区～6学区 | 2. 旧鶴岡市1学区～6学区以外 | | |
| 3. 藤島地域 | 4. 羽黒地域 | 5. 榊引地域 | 6. 朝日地域 |
| 7. 温海地域 | | | |

問4 いまの地域には何年間お住まいでしょうか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 |
| 3. 10年以上20年未満 | 4. 20年以上30年未満 |
| 5. 30年以上40年未満 | 6. 40年以上50年未満 |
| 7. 50年以上 | |

問5 あなたの世帯での位置づけ(1.または2.に○)と、あなたを含めた世帯人数をご記入ください。

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| 1. 世帯主 | 2. 世帯主以外 | 世帯人員 ()人 |
|--------|----------|-----------|

問6 どなたと同居していますか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 同居者はいない | 2. 配偶者またはそれに準ずる者 |
| 3. 子ども | 4. 孫 |
| 5. 介護が必要な、自分又は配偶者の親 | 6. 介護が不要な、自分又は配偶者の親 |
| 7. 介護が必要な、自分又は配偶者の祖父母 | |
| 8. 介護が不要な、自分又は配偶者の祖父母 | |
| 9. 兄弟・姉妹 | |
| 10. その他 () | |

問7 どの医療保険に加入していますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 健康保険組合 | 2. 協会けんぽ | 3. 国民健康保険 |
| 4. 共済組合 | 5. 後期高齢者 | 6. わからない |

日常の外来受診について

問8 日常的な医療を受ける場所について、あなたの希望を教えてください。
(1つに○)

1. 自宅まで往診してほしい
2. 住み慣れた地域で受診したい
3. 市内の総合病院で受診したい
4. 市外の高度な医療が期待できる医療機関で受診したい
5. 実際の症状によってそのとき考える
6. その他 ()

問9 あなたは、最近1年間に一般外来（通常の診察時間内での診察）を受診しましたか。(1つに○)

1. 受診した
2. 受診しなかった

5ページ
問16へ

問10 問9で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。
最近1年間でどの地域の医療機関を最もよく利用しましたか。
(1つに○)

1. 鶴岡市
2. 酒田市
3. 三川町
4. 庄内町
5. 遊佐町
6. 県内
7. 県外
8. その他 ()

問11 問9で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。
最近1年間で最もよく利用した医療機関について、その医療機関を選んだ理由を教えてください。(3つまで○)

1. 以前からよく知っている
2. 評判が良い
3. 自宅に近い
4. 職場や学校に近い
5. 休日に対応してくれる
6. 早朝・夜間も対応してくれる
7. 総合病院なので
8. かかりつけ医のいる機関なので
9. 他に医療機関が無かった
10. なんとなく
11. その他 ()

問12 問9で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、その医療機関への交通手段を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. シニアカー(電動カート) |
| 5. 自分で運転する自家用車 | 6. 家族等の運転する自家用車 |
| 7. 路線バス | 8. 生活福祉バス |
| 9. タクシー | 10. 乗合タクシー(デマンドタクシーなど) |
| 11. JR | 12. その他() |

問13 問9で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、自宅又は職場のうち近い方からその医療機関への所要時間を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|----------|
| 1. 10分未満 | 2. 10分以上30分未満 | |
| 3. 30分以上1時間未満 | 4. 1時間以上 | 5. 2時間以上 |

問14 問9で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、**満足している点**を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 交通の便 | 2. 診察日 |
| 3. 診察時間 | 4. 待ち時間 |
| 5. 医師の知識や技術 | 6. 医師の態度 |
| 7. 看護師の対応 | 8. 病気や治療に関する説明 |
| 9. 専門の医師や医療機関への紹介 | 10. セカンドオピニオンの受けやすさ |
| 11. 自宅まで往診してくれること | 12. その他() |

※セカンドオピニオン：主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

問15 問9で「1.受診した」を選んだ方にお聞きします。

最近1年間で最もよく利用した医療機関について、**改善してほしい点**を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 交通の便 | 2. 診察日 |
| 3. 診察時間 | 4. 待ち時間 |
| 5. 医師の知識や技術 | 6. 医師の態度 |
| 7. 看護師の対応 | 8. 病気や治療に関する説明 |
| 9. 専門の医師や医療機関への紹介 | 10. セカンドオピニオンの受けやすさ |
| 11. 自宅での往診の実施 | 12. 特になし |
| 13. その他() | |

※セカンドオピニオン：主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

入院について

問16 あなたは、最近1年間に入院しましたか。(1つに○)

1. 入院した

2. 入院しなかった

6ページ
問21へ

問17

問16で「1. 受診した」を選んだ方にお聞きします。
どの医療機関に入院しましたか。最近1年間に数回入院された場合は、1回
目の入院について記入ください。(1つに○)

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 荘内病院 | 2. 日本海総合病院 | 3. 鶴岡協立病院 |
| 4. 県外の医療機関 | 5. 山形県内の医療機関 | 6. 庄内地域の医療機関 |
| 7. その他() | | |

問18

問16で「1. 受診した」を選んだ方にお聞きします。
入院した医療機関を選んだ理由は何ですか。最近1年間に数回入院された場
合は、1回目の入院について記入ください。(3つまで○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 入院以前から通院していたので | 2. 他医療機関から紹介されたので |
| 3. 自宅が近いので | 4. 身内の家が近いので |
| 5. 勤務先・学校が近いので | 6. 救急搬送先だったので |
| 7. 医療技術の評判が良いので | 8. 病院スタッフの対応が良いので |
| 9. その他() | |

問19

問16で「1. 受診した」を選んだ方にお聞きします。
入院した医療機関で満足した点は何ですか。最近1年間に数回入院さ
れた場合は、1回目の入院について記入ください。(3つまで○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 入院手続きのスムーズさ | 2. 入院の期間 |
| 3. 病気や治療についての説明 | 4. 医師の技術 |
| 5. 医師の態度 | 6. 看護師の技術 |
| 7. 看護師の態度 | 8. 専門の医師・医療機関との連携 |
| 9. セカンドオピニオンの受けやすさ | 10. 入院中の食事 |
| 11. 病室 | 12. 退院手続きのスムーズさ |
| 13. 退院後の生活や通院の支援 | 14. 特になかった |
| 15. その他() | |

※セカンドオピニオン：主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

問20 問16で「1. 受診した」を選んだ方にお聞きします。
入院した医療機関で「不満だった点」は何ですか。最近1年間に数回入院された場合は、1回目の入院について記入ください。(3つまで○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 入院手続きのスムーズさ | 2. 入院の期間が長すぎた |
| 3. 入院の期間が短すぎた | 4. 病気や治療についての説明 |
| 5. 医師の技術 | 6. 医師の態度 |
| 7. 看護師の技術 | 8. 看護師の態度 |
| 9. 専門の医師・医療機関との連携 | 10. セカンドオピニオンの受けやすさ |
| 11. 入院中の食事 | 12. 病室 |
| 13. 退院手続きのスムーズさ | 14. 退院後の生活や通院の支援 |
| 15. 特になかった | 16. その他 () |

※セカンドオピニオン：主治医以外の医師による、治療方針等についての助言

在宅医療について

問21 自宅での介護や看病において不満を感じたこと、または、そのような状況を想定した場合に不安に感じることを教えてください。
(3つまで○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 介護疲れや看病疲れによって、自身も体調を崩してしまうこと |
| 2. 看取りの後、精神的に不調になること |
| 3. 医師のサポートが不十分であること |
| 4. 看護師のサポートが不十分であること |
| 5. 介護職（ケアマネや介護福祉士など）のサポートが不十分であること |
| 6. 医師・看護師・介護職以外の専門職のサポートが不十分であること |
| 7. 自身の仕事が制約されることで、収入が減るなどの経済的負担が生じること |
| 8. その他 () |

問22 自宅での介護や看病において、サポートを受けられて良かった、またはサポートを受けたいものを教えてください。(2つまで○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 短期入院や短期入所等による、看病を休息する機会の確保 |
| 2. 自身の心のケア |
| 3. 相談できる専門医の存在 |
| 4. その他 () |

鶴岡市の医療提供体制について

問23 現在の鶴岡市の医療に関する総合的な満足度を教えてください。
(1つに○)

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. とても満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 |
| 4. とても不満 | 5. どちらでもない | |

問24 10年後といった近い将来の鶴岡市の医療について、あなたのお気持ちを教えてください。(1つに○)

- | |
|---------------|
| 1. 全く心配していない |
| 2. あまり心配していない |
| 3. どちらとも言えない |
| 4. 不安である |
| 5. 非常に不安である |

問25 問34で「4. 不安である」「5. 非常に不安である」を選んだ方にお聞きします。将来の鶴岡市の医療について、何が不安ですか。
(3つまで○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 医療機関への交通手段 |
| 2. 急病時にすぐ診てくれる医師がいるか |
| 3. 重い病気をしたときに診てくれる医師がいるか |
| 4. 近隣の医療機関が廃業・撤退してしまわないか |
| 5. 分娩施設がないため、安心して出産ができない |
| 6. 子どもが適切な医療を受けられるか |
| 7. 医療従事者が高齢化しており、地域医療が維持できないのではないか |
| 8. 自身が希望する場所で最期を迎えられないのではないか |
| 9. はっきりとは分からないが、不安を感じる |
| 10. その他 () |

地域医療の市民への理解と普及

問26 地域医療に関するSNS等（ホームページなど）の情報を閲覧したことはありますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------|----------------|
| 1. ある | 2. ない | 3. 閲覧の仕方がわからない |
| 4. 閲覧する手段がない | | |

問32 エンディングノート（遺書や遺言とは別に、最期を迎える場所や看取りに関して自分の希望を書き留めたもの）を作成したいと思いますか。（1つに○）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. すでに作成している | 2. 作成していないが、いずれ作成したい |
| 3. どちらともいえない | 4. 作成したいとは思わない |
| 3. エンディングノートを知らなかった | |

地域医療における荘内病院のあり方

問33 荘内病院が主催する各種催事（研修会、講演会、勉強会、患者会など）参加したことがある。「1.ある」の場合は回数をご記入ください。（1つに○）

- | | | |
|-------|-------|-----------------|
| 1. ある | 2. ない | 「1.ある」の場合 () 回 |
|-------|-------|-----------------|

問34 荘内病院が市民に親しまれる開かれた病院を実現するため、市民として荘内病院の各種事業に協力していきたいと思いませんか。（1つに○）

- | | | |
|-------------|---------------|----------|
| 1. ぜひ協力したい | 2. 可能な限り協力したい | |
| 3. 少しは協力したい | 4. まったく協力できない | 5. わからない |

スムーズな在宅療養生活への移行

問35 あなたは、ご自身のかかりつけ医はいますか。（1つに○）

- | |
|---------------------|
| 1. いる |
| 2. いない |
| 3. 決めていないが、いると良いと思う |

問38 問35で「1. いる」を選んだ方にお聞きします。
かかりつけ医について改善してほしい点は何ですか。(3つまで○)

1. どんな病気でもまず診てほしい
2. 親身になって対応してほしい
3. 診療技術を向上させてほしい
4. 病気や治療について丁寧に説明してほしい
5. 自分の病歴や健康状態についてもっと理解してほしい
6. 自分だけでなく家族の病歴や健康状態についてももっと理解してほしい
7. 必要に応じてすぐに専門医を紹介してほしい
8. 紹介先に適切に自分の診療情報を連携してほしい
9. 生活習慣病などの予防に向けたアドバイスをしてほしい
10. 定期健診や検診をしてほしい
11. 往診や訪問診療などの在宅医療に対応してほしい
12. 夜間や休日にも診察してほしい
13. 夜間や休日にも電話相談に対応してほしい
14. 最期の看取りまで対応してほしい
15. こころの病気の相談に乗ってほしい
16. 特にない

問39 ICTツール（Net4U、ちょうかいネット、地域連携パス等）を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 知っており、すでに利用している | 2. 知っている |
| 3. 名前だけ聞いたことがある | 4. 知らなかった |

問40 コロナ禍において、オンライン診療（ITを用いた遠隔診療）は必要だと思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. ぜひ必要である | 2. あれば便利である。 |
| 3. できれば直接会って診察を受けたい | 4. 必要ない |

問 4 1 鶴岡市の地域医療に関して何を望み、どのようなことを期待するか、ご記入ください。

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

① 地域医療について市民周知や広報の手段を考えるために

前回の市民委員会グループワークのまとめ

資料3-1

来年度以降のアクションプラン策定に活かしましょう

メンバー委員名を記載ください 瀬尾利加子、本間志保子、北風寸美、佐藤明美、原田藤四郎、水口英俊

以下を参考に協議ください。

<p>Who 誰が</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健推進委員 町内会、民生委員 家族 地域の人に広めてもらう ユーチューバー 鶴岡市 キャラクターマスコット 見やすく 媒体を考える 紙ベース HPより担当が 行政の方が勉強会などの開催 町内会長 病院の広報 やわらかく 親しみやすく 	<p>Whom 誰に</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い人 高齢者 町内 地域の中で集っている場所今ある組織を活用する サロンなどで100歳体操している人 ターゲットを決めて紙面を作る 市民 	<p>What 何を</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能分化のこと 診療所のこと 鶴岡市の人口 伝えられる人も育てる 病気 基本的なこと 荘内病院を知ってもらいたい 病院の現在 医療のデータ 鶴岡市の医院の現状を 流れを市民へ知らせる 高齢化が進むと先のことが心配 開業医のことも知らせる どうすれば病院を知ってもらえるか
<p>How どのように</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙（広報つるおか） サロンで動画、Facebook、SMSの活用にて若者へ発信 見やすく親しみやすい紙面を HPのキャラクターをつくったらどうか→市民から参加してもらうキャッチフレーズ、マスコット 地域の保健課の人達を育てていく 町内会長、保険推進員を活用して、広報PR、地域活動センター、楽しい講演会とセットで広報活動 町内広報→事例紹介 	<p>① 目的</p> <p>地域医療について市民周知や広報の手段を考えるために</p>	<p>Why それはなぜ</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな人がいろいろな声を聞いて、吸い上げてくれると次につながる これからの医療を考える 若い人も健康に気をつかう 老後の安心のため
<p>When いつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間をかけて浸透させていく 長期的に人材育成を（理解してもらうこと） 認定証をつくる（オレンジサポーターのように） 人が集まるために、どんなことで人が集まるか分析しては 明るく見やすいように とにかく出す（発刊） 	<p>Where どこで</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で広める。サロンや100歳体操 隣近所と集まる場を提供することも一つ 興味が持てる話が聞けたら 女性センターも使えるのでは 	<p>How much いくらで</p>

< 市との役割分担 >

- 講座を設ける→認定制度
- 人を育てる→地域にいればいい作ること→サロンなどではなしてもら
- 広報を見てもらう。キャラクター、キャッチフレーズを集める
- 集まっている理由の調査

- 背景が異なる設定
- 若い人向け→SNS、動画
- 地域制、年齢制

① 地域医療に関するアンケートやデータ収集を実施するためには 前回の市民委員会グループワークのまとめ

来年度以降のアクションプラン策定に活かしましょう

メンバー委員名を記載ください 佐藤和広、土田三香子、本間優子、真島正博、秋山美紀（コーディネーター）、佐藤 正（事務局）

以下を参考に協議ください。

<p style="text-align: center;">Who 誰が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート係が ・市民委員会 ・Dr. 	<p style="text-align: center;">Whom 誰に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民、地域住民 ・回答者の背景（無責任な回答をしない） ・状況（家族構成、居住地域） ・たとえば旧市内の人をターゲット ・市民・年齢、地域を考えて、目的、年齢、職種、性別 	<p style="text-align: center;">What 何を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期待する事を聞く ・知識量→セカンドオピニオン ・地域医療に望む事 ・何をしたいか ・年齢 ・医者にかかった体験 ・オンライン診療 ・無作為に <ul style="list-style-type: none"> 年齢 地区 子供の有無 ・かかりつけの有無 ・ニーズ ・満足度 ・遠隔診療 ・住居の地域 ・広報との連携 ・地域を絞る
<p style="text-align: center;">How どのように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート→広報→アンケート ・かかりつけの医院がないと、アンケートは書きにくいだろう。「家族で医者にかかっている方に」等で書いてもらう ・高梁市のアンケートを参考に ・あまりたくさんの項目ではなく ・何を知っていて知らないことは何か→広報でも ・委員の所属する組織で配布する ・市民の無作為抽出による 	<p style="text-align: center;">① 目的</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">地域医療に関する市民の意識を収集</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">し、地域医療市民アクションにつな</p> <p style="text-align: center;">げる</p>	<p style="text-align: center;">Why それはなぜ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ、満足度を生かすために ・無責任な回答が
<p style="text-align: center;">When いつ</p>	<p style="text-align: center;">Where どこで</p> <p>広報より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集まる場所（グループ） ・年齢層 	<p style="text-align: center;">How much いくらで</p>

< 市との役割分担 >

- ・事務局よりたたき台作成→実施時期 検討
- ・たたき台を作ってもら
- ・地域で拡げる運動

検討するテーマ・市民とともに作り上げる地域医療

令和元年度（年2回 12月、3月に開催）

第1回開催
「市民委員会の主旨説明とスケジュールの確認」
(地域医療に関する委員のディスカッション)

第2回開催
「地域医療における
荘内病院のあり方」
(開かれた病院の実現、患者満足度の向上)

地域医療の目指す姿

- 市民自身が自分の健康を守り、また地域医療を守り、そして医療機関と、こころ通いあう地域医療を実現する
- 地域の基幹病院である荘内病院が、急性期病院としての使命を果たし、他の関係機関と連携を図りながら、地域医療を進める

令和2年度（年4回 7月、11月、2月、3月に開催）

第3回開催
「コロナ禍における
地域医療と市民行動について考える」
(第2波、第3波に備えて)

第4回開催
「地域医療の市民
への理解と普及」
(市民への積極的な情報発信と医療ニーズの把握)

第5回開催
「市民周知や広報の
手法を考える」
「アンケートやデータ
収集を実施するには」
「市民勉強会のあり方
を考える」

第6回開催
これまでの市民委員会を振り返って
(来年度の市民委員会の内容の検討)

令和3年度（年4回 5月、8月、11月、2月に開催）

「市民アクションプラン」の策定
(地域医療を守るために市民ができることを掲げる)

「市民勉強会」の開催
(市民委員が核となり、地域医療の理解と普及に取り組む)

これまで6回の市民委員会
会で出た意見をもとに

市民発



名称	対象	参加者	開催頻度	内容
1 定期協議会	荘内病院、鶴岡協立病院	病院長、看護部長、事務幹部	年 2 回	両病院間の連携強化、情報共有、意見交換
	荘内病院、山形県立こころの医療センター	病院長、看護部長、事務幹部	年 2 回	両病院間の連携強化、情報共有、意見交換
	荘内病院、湯田川温泉リハビリテーション病院	病院長、看護部長、事務幹部	年 1 回	両病院間の連携強化、情報共有、意見交換
	荘内病院、庄内余目病院	病院長、看護部長、事務幹部	年 1 回	両病院間の連携強化、情報共有、意見交換
2 3 病院会議	日本海総合病院、鶴岡協立病院、本間病院、(荘内病院)	病院長、看護部長、事務幹部	年 3 回 + 研修会	情報共有、意見交換
3 連携の会 コロナで中止中	荘内病院連携室、鶴岡協立病院連携室	地域医療連携室スタッフ	月 1 回	転院に関する連携強化、関係づくり、情報共有、意見交換
4 庄内看護管理者ネットワーク協議会	庄内地域の病院看護管理者	看護管理者 保健所担当者	年 3 回 + 研修会	病院看護部長間の関係づくり、情報交換
5 小児・周産期医療連携の会議	荘内病院、鶴岡協立病院、三井病院	病院長、看護部長、事務幹部、産婦人科医師、小児科医師、助産師		小児・周産期医療に関する意見交換
6 ケースカンファレンス	荘内病院、鶴岡協立病院	地域医療連携室及び病棟スタッフ		紹介患者のフィードバック
7 鶴岡地区病院協議会	荘内病院、県立こころの医療センター、鶴岡協立病院、鶴岡協立リハビリテーション病院、鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院、三井病院、三川病院	院長、看護部長、事務幹部、地域連携担当者	年 1 回	病院間の連携強化、地域医療の課題等

令和2年度 第2回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会 (会議概要)

- 日 時 令和2年 11月13日(金) 午後1時30分から3時30分
- 会 場 鶴岡市総合保健福祉センターにこふる 3階 大会議室
- 次 第
 - 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 説明・報告・協議
全体テーマ 「市民の地域医療への理解と普及」
～ 市民への積極的な情報発信と医療ニーズの把握 ～
 - (1) 講 話
「鶴岡市の医療資源について」
瀬尾医療連携事務所 代表取締役 瀬尾 利加子 氏
 - (2) 協 議
 - ① 地域医療について市民周知や広報の手法を考える
 - ② 地域医療に関するアンケートやデータ収集を実施するには
 - (3) その他 次回、市民委員会のテーマの検討
 - 4 その他
 - 5 閉 会
- 出席委員
瀬尾利加子(委員長)、本間志保子(副委員長)、北風寸美、佐藤明美、佐藤和広
土田三香子、原田藤四郎、本間優子、真島正博、水口英俊
秋山美紀(コーディネーター・オンライン参加)、福原晶子(オブザーバー)、迎田健(オブ
ザーバー)、鈴木千晴(オブザーバー)、三科武(オブザーバー)、鈴木聡(オブザーバー)
- 市側出席職員
健康福祉部長 渡邊健、地域包括ケア推進室長 佐藤清一、地域包括ケア推進室調整専門員
佐藤正、同室調整専門員 帯谷友洋、同室主事 三浦巧、同室保健師 東海林志保、荘内病
院事務部長 佐藤光治、同参事(兼)総務課長 今野一夫
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の人数 6人
- 審議事項(グループワーク)
テーマ1:「地域医療について市民周知や広報の手法を考える」
テーマ2:「地域医療に関するアンケートやデータ収集を実施するには」
- 委員発言要旨
テーマ1「地域医療について市民周知や広報の手法を考える」
～ グループワークのまとめ ～
市民への周知について、まずひとつ目として、現在、広報誌などが発行されているが、少し
固いのではないかと感じる。もう少し親しみやすく、柔らかい内容があっても良いのではない
か。それにはまず、キャラクターやマスコットを入れて、これがこの内容のキャラクターやマ

スコットですと表示し、市民が一目でわかるような内容にしたらどうか。

次に、情報を得る手段として、紙媒体の方もいれば、若い世代は SNS 等で情報を取得する場合もあり、地域の行事に集まってくださいと周知しても、なかなか若い人が集まるのが難しい。地域の保健衛生推進員や民生委員を中心に、地域の方に情報を周知してもらい、地域全体で地域医療への理解を広げていく活動が必要と思う。

以上がグループで出された意見。

委員長：先ほど私が説明した「鶴岡市の医療資源について」の内容は知ってもらいたいし、地域医療について伝えたいことはたくさんあるという話も出た。またキャッチフレーズ、キャラクターも市民から募集した方がよく、キャッチフレーズも見てもらおうよう工夫し、見たいと思えるような広報誌を作って行ければ良いと思う。

地域で地域医療についてお話が出来る人を育てることが必要で、地域での役割と人材育成が課題となる。女性センターの講座を活用するのも1つの方法。また、若者と高齢者では集まれる時間帯も違うし、見るものも違う、興味関心も違うので、そのような調査も必要なのではないか。このようなことをアンケート調査したらいいのではないかという話が出た。

コーディネーター：鶴岡市はとても面積が広いので地域性の違い、あとは年齢層の違いのよって出て来るニーズや感じていることが違うと思う。アンケート調査はそうした背景の異なる市民の皆さんがどのように考えているのかというのが把握できるようなものになればよいと思う。

委員：荘内病院の広報誌「黎明」は、荘内病院の広報の担当の方が作るのか。

事務局：荘内病院の中に総務課という部署があり、そこに広報をつくる担当者がおり、また院内の各部署に広報委員がいて、その委員会で年2回発行している。

委員：鶴岡市の広報に看護学生のコロナの差別や誹謗中傷に関するメッセージリレーが掲載されており、今、看護を学んでいる看護学生の言葉がとても感動し心に残り、こういう伝え方がいいと思った。

事務局：新型コロナ感染症に関して、いろいろ差別や偏見が社会的に問題になっていることを受け、そのような差別、偏見をなくす取り組みとして、市の広報を活用し、いろいろな立場の方からメッセージをお寄せいただいている。

医療従事者に対する差別、偏見もあるようで、市で看護学生の立場として差別、偏見の防止に向けたメッセージをいただけないかとお願いし、このたび純粋な気持ちで我々としても励まされるようなメッセージが掲載された。評価していただき、ありがとうございます。

テーマ2「地域医療に関するアンケートやデータ収集を実施するには」

～ グループワークのまとめ ～

資料 6

アンケート調査をするにあたって、まず何をアンケートで知ることを目的とするかが重要で、現行の地域医療に関する市民の満足度、現在や未来にわたりどのようなことを医療機関に求めていくかなどのニーズ調査、また地域医療に関してどのような知識を持っているかという知識量といった3点がポイントに挙げられる。

満足度とニーズという点に関しては、添付資料の7にある岡山県高梁市のアンケートなどを参考にしながら、回答する市民の方々それぞれに医療に関して背景(医療資源の偏在、家族構成など)が違うので、医療を今後考えていくうえで、医療機関に対する満足度、ニーズという点も調査が必要であるとの話し合いになった。また、オンライン診療を今後活用するとか、セカンドオピニオンの仕組みの理解など、今後の方向性に役立てられるようなアンケート調査、データのフィードバックを考えていかなければならないと思う。

知識量の部分に関しては、アンケートを取り、皆さんがどのくらい地域医療に関して知識があるのかということ把握し、その後6か月ほど広報等により地域医療について周知したのちに、再度同じアンケートを取り、どのくらい周知できたかを把握する手法が有効という話が出た。

以上がグループで出された意見。

委員長：いつ頃、アンケート調査をするという、そういう時期的な話はあるか。

委員：そこまでの話は進んでいない。事務局が素案を作成し、それを委員が検討する流れを予定。

○次回、市民委員会のテーマについて

① 今回の第4回の内容をより具体的に深め、アクションに移せるようにすること。

② 市民勉強会のあり方を考える

～市民公開ワークショップの開催に向けて運営方法等を検討する～

鶴岡市地域医療を考える市民委員会 事務局 FAX 29-5658

鶴岡市 地域包括ケア推進室 宛

< 市民アクションプラン・アンケート調査への意見 >

記入日 令和3年 月 日 氏名

◆令和3年度策定予定 鶴岡市地域医療市民アクションプランの体系（案）

資料1への意見

◆鶴岡市の地域医療に関するアンケート 資料2への意見**◆令和3年度の鶴岡市地域医療を考える市民委員会の開催内容について****◆その他、鶴岡市地域医療を考える市民委員会への意見・要望等**

* 令和3年2月26日(金)まで、鶴岡市地域包括ケア推進室 佐藤正宛にご提出ください。

*グループワーク メモ

(委員会終了後、回収させていただきます)

氏名 _____

Who 誰が	Whom 誰に	What 何を
How どのように	① 目的	Why それはなぜ
When いつ	Where どこで	How much いくらで

【メモ欄】